
基礎看護実習Ⅱ

水田 真由美 教授
岩根 直美 准教授
坂本 由希子 准教授
野々口 陽子 助教
米島 望 助教

2年次前期・必修

2単位・90時間

【概要・目的】

本科目は、保健看護学の専門領域すべての実習における基盤となり、これから学ぶ専門領域に発展可能な知識・技術・態度を学ぶ。ここでは、医療機関で入院する患者を受け持ち、健康・看護の情報を科学的思考に基づくアセスメントを行い、患者の全体像の理解、看護問題の抽出、看護援助の必要性とその方法について学ぶ。看護過程一連の思考においては記録することができ、思考や行動を振り返ることができる。また、医療職の一員としてふさわしいコミュニケーション方法を用いて受け持ち患者のニーズや個別性を理解する。さらに、医療従事者間の報告・連絡・相談の時期・内容・方法を体験学習し、保健看護の専門職者として必要な基礎的態度を学ぶ。

【到達目標】

- 1) 看護の対象者の理解ができる。
 - 2) 人間関係形成を通して対象者のニーズを把握することができる。
 - 3) 科学的な思考に基づいたアセスメントを行い、看護上の問題を見出すことができる。
 - 4) 対象者のニーズを満たすために、日常生活における基本的な看護援助ができる。
 - 5) 実施した看護を振り返り、記録ができる。
 - 6) 看護チームの一員としての自覚を持ち、責任ある行動ができる。
 - 7) 看護実践を通して、自らの課題を見出し、主体的な学習ができる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 実習時期：9月の2週間（後期）
 - 2) 実習施設：和歌山県立医科大学附属病院
 - 3) 方法：実習計画に基づいて行う（実習要綱1・2年生用参照）
 - ・オリエンテーション：実習2か月前を目途に実施
 - ・日常生活援助技術（環境整備、シーツ交換、洗髪、足浴など）、バイタルサイン測定は実施できるようになるための課外学習を行う必要がある
-

【評価】

実習目標達成度（50%）、提出物（30%）、出席状況および参加態度など（20%）

【推薦参考図書】

必要時は随時提示する。

【その他】注意事項は実習要綱共通と1・2年生用を参照する。